

Green Brave



2021 RACE REPORT

AUTOBACS SUPER GT Round 8

FUJIMAKI GROUP FUJI GT 300km RACE

2021年11月27日(土)~28日(日)

富士スピードウェイ(静岡県小山町)

#52 埼玉トヨペット GB GR スーブラ GT

■ ■ ■ ■ レース後半にトップに立つも接触で後退し悔しい9位 ■ ■ ■ ■

第8戦はサクセスウェイトを一切積まないノーウェイト戦。これまでのレースと異なり決勝中のタイヤ交換が義務付けられているのがポイントです。

土曜日(予選日)の天候は晴。公式練習は9時から行われ、吉田選手が10周目に1分35秒407のトップタイムをマーク。GR スーブラ GTは昨年、富士で行われたレースで2勝をあげており、抜群の相性を誇っています。川合選手に交代し、連続走行でのタイヤの変化をチェック。セッション終盤には吉田選手と川合選手が一度ずつドライブし、28台中2位で公式練習を終えました。トップは同じGTA GT300規定の#61BRZです。

Q1の予選は14時30分から行われ、GR スーブラ GTはA組に出場。ドライバーは吉田選手です。吉田選手は1回目のアタックで1分35秒148をマークしますが、走路外にはみ出していたため、アタックを継続。慎重にドライブしたものの、1分34秒876のトップタイムをマーク。Q1を突破しました。約1時間後に行われたQ2。川合選手は3週のウォーミングアップの後、1分34秒547のコースレコードをマーク。トップに立ちます。このままポールポジション確定と思われましたが、終了間際にアタックした#61BRZが川合選手のタイムを0.152上回り逆転。正式結果は予選2位となりました。

日曜日(決勝日)の天候は晴。スタートドライバー、川合選手は2位をキープしてオープニングラップを終了。#61BRZの背後につけており、ポジションアップのチャンスをうかがいます。しかし、2周目の最終コーナーで#60GR スーブラ GTに抜かれて3位に後退。この隙に#61BRZがリードを広げます。ところが7周目にGT300車両のアクシデントが発生。セーフティカーが導入され、上位3台の間隔はリセットに。12周目からレース再開となり、再び#60GR スーブラ GTを追う展開となります。レース周回数の3分の1を経過し、ピットに入るライバルが現れる中、川合選手も全チームで2番目に早い19周目の終わりにピットイン。吉田選手に交代し、店舗メカニックが今年一番のスピードで給油とタイヤ交換を行い、再スタートします。吉田選手は20位でコースに復帰。ライバルがピットに入るたびに順位が上がっていきます。29周目、1コーナーでピットアウトしてきた#60GR スーブラ GTと交錯しますが、タイヤに熱が入っている吉田選手は難なくパス。全車がピットインを終えた45周目、トップに立ちます。#60GR スーブラ GTは吉田選手を上回るペースで走行し、プレッシャーをかけますが、吉田選手もうまくギャップをコントロール。45周目に入ったFCY(フルコースイエロー)も有利に働き、逃げ切り体制を固めていきます。しかし、吉田選手は51周目の最終コーナーでスピン。直前のコーナーで周回遅れのクルマと接触しており、助手席側のリアタイヤがホイールから外れています。吉田選手はすぐにピットに入り、リアタイヤのみの2本を交換し再スタート。14位でコースに復帰しますが、9位まで追いつけたところでチェッカー。辛くもポイントを獲得できたものの、目標の優勝は達成できず、ほろ苦い最終戦となりました。

決勝結果(GT300)

#52 埼玉トヨペット

Green Brave GR スーブラ GT
(吉田広樹/川合孝汰)

決勝: 9位

(61周、1時間49分32秒833)

予選: 2位

(Q2:1分34秒547)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	SYNTIUM LM corsa GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	61
2位	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	61
3位	SUBARU BRZ R&D SPORT (スバル BRZ GT300)	61
4位	グッドスマイル初音ミク AMG (メルセデス AMG GT3)	61
5位	リアライズ日産自動車学校 GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	61
6位	HOPPY Porsche (ポルシェ 911 GT3 R)	61
9位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	61

天候: 晴 路面: ドライ ※トップ6まで(出走28台)



DRIVERS VOICE

吉田広樹選手



(予選後) タイムは出たと思うのですが、まわりも上がっていたので、余裕もつてのぞめたわけではなかったです。1回目のアタックの際、コースからはみ出したことで、1周分の時間しか残っていませんでした。タイムを出すというより確実にコースにとどまり、Q2の孝汰につなぐことを意識しました。それでも思っていたよりタイムは出ました。

(決勝後) 途中までは完璧なレースでした。孝汰もそうですし、タイヤ交換と給油してくれたメカニックも完璧な作業で送り出してくれました。そのあとも自分もいいペースで走れて、残り8周でしたかね。そこまでは本当にいい内容だったと思うのですが、自分が判断ミスをしてしまい、譲ってくれているクルマと接触してしまいました。レースを台無しにしてしまったので、チームや応援してもらっているみなさんに申し訳ないと思います。リベンジするチャンスがもらえるのであれば、この経験をしっかり活かして走りたいと思います。

川合孝汰選手



(予選後) 力を出し切って抜かれてしまったので悔しいです。自分が出したタイムや予選の走り方を悔んでいるわけではありません。自分がトップのタイムに追いつくためにできることは今のところ思いつかないのですが、素直に負けたことが悔しいですね。同じGTA GT300のクルマ同士、向こうはチャンピオン争いをしているので土俵は違いますが、今年争ってきたチームなので、一矢報いたかったです。

(決勝後) BRZ を抜く方向にシフトしようと思ったのですが、タイヤの内圧がこなくて。前のクルマはチャンピオン争いをしているクルマなので、ここでリスクを負えないと思っていたところ、スープラにインをとられてしまいました。富士は抜くことのできるコースですが、同じスープラ同士、タイヤメーカーは違うものの、速いところとそうではないところがほぼ同じです。なかなか抜けられないですし、トップのBRZも含めて3台で固まっていたので、チャンスを作れず、周回を重ねてしまいました。



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	61	R&D SPORT	87
2位	56	KONDO RACING	77
3位	60	LM corsa	73
4位	244	Max Racing	68
5位	55	ARTA	64
6位	65	K2 R&D LEON RACING	64
8位	52	埼玉トヨペット Green Brave	56

トップ6まで



PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 Team Iwakiri Japan



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ドーム



株式会社デイトナ・インターナショナル



株式会社ハッピーライフ彩生

※50 音順

1年間ご声援いただき、誠にありがとうございました